

TRAIL

いわき市の経済・景気の動き

経済・景気動向調査報告「トレイル」
第79号 2022年12月23日発行

いわき市産業振興部

【全国】“緩やかな持ち直し”が続いているが、先行きの持ち直しに不安を拭い去れない！

【いわき市】ほとんどの分野で改善したが、今後の懸念材料を考えると回復はまだ遠い！

【経済・景気四方山話】
見直されるべき

地域国際化の政策プライオリティ！

■ 全国動向

22年第Ⅲ四半期(7-9月)の「GDP速報値」(11/15)は、実質前期比▲0.3%*1と4四半期振りにマイナスとなった(名目は▲0.5%、円安で実質より幅が大きい)。主因はGDP計算上差し引く輸入の5.2%であるが、底流にGDPの過半を占める個人消費の第7波コロナ禍による伸び悩みがある。

総括判断である「月例経済報告」(11/24)の“基調判断”は“緩やかに持ち直し”を踏襲した。5か月連続となる。部門別は右表の通りだが、個人消費と海外経済は、総合判断とはいえ、物価高、円安に見舞われている実態から市民感覚との乖離を感じる。先行き判断も前月を踏襲しているが、足下の景気動向指数、景気ウォッチャー調査等では下落傾向がみら

区分	前期比
GDP(実質)	▲0.3
(年率換算)	▲1.2
民間消費	0.3
民間住宅設備投資	▲0.4
主要部門別	1.5
政府消費	0.0
公共投資	1.2
輸 出	1.9
輸 入	5.2

基調判断	穏やかに持ち直し
個人消費	緩やかに持ち直し
設備投資	持ち直している
公共投資	底堅く推移
輸 出	おおむね横ばい
輸 入	おおむね横ばい
生 産	持ち直しの動き
企業収益	総じて改善
雇用情勢	持ち直している
海外経済	下押しのリスク
先行き判断	持ち直しを期待

(注)下線は変更部分。

目 次

全国動向：“緩やかな持ち直し”が続いているが、先行きの持ち直しに不安を拭い去れない！

いわき市の動向：ほとんどの分野で改善したが、今後の懸念材料を考えると回復はまだ遠い！

経済・景気四方山話：

見直されるべき地域国際化の政策プライオリティ！

I 経済・景気調査：2022年第Ⅲ四半期(7-9月)

1. 経済の動き(主要部門別・主要経済データ) 3
2. 景気の動き(景気動向指数) 9

【参考】- 景気動向指数の内容 - 国・県の動き

II 景気ウォッチャー調査：2022年11月時点 16

れる。政府の「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」(10/28)の効果が期待される。

*1 2次速報値(12/8)は▲0.2%(年率▲0.8)に上方修正。

■ いわき市の動向

● 経済・景気調査

'20年1-3月期以降不信が続いてきたが、今期に至りほとんどの分野で改善or増加し、改善傾向にある。しかし景気ウォッチャー調

年	期・月	総括概要
R3	II 4-6	まだら模様
	III 7-9	全分野で停滞
	IV 10-12	下振れが必至
R4	I 1-3	下振れの恐れ
	II 4-6	一部に下げ止り
	III 7-9	全分野で改善傾向

査('22年11月)の“先行き判断”では“悪くなる”が35.9%と見通しに不安がでている。

【需要動向】

大規模小売店舗販売(2四半期連続で改善)を始め、自動車新規登録数(5四半期振り)、新設住宅着工戸数(2四半期ぶり)、公共工事等受注額(3四半期振り)等が揃って増加。観光・入湯税も国の旅行支援策の効果からか伸びている。

【企業動向】

中央卸市場取扱高(4四半期連続)、小名浜高輸入通関実績(5四半期連続)で前年水準を上回った。金融関係では、中小企業融資残高(2四半期振り)、信用保証承諾額(前期比増)等、企業活動が活発化している。企業倒産はわずか2件。

【雇用動向】

新規・有効求人倍率は8月以降上昇基調、雇用保険受給者は減少、と改善傾向にある。

● 景気ウォッチャー調査(2022年11月時点)

全業種の現状DIは46.9㊦で前回より3.6㊦上昇。部門別には家計が上昇、企業と雇用が低下。先行きDIは全業種で44.1㊦で前回より3.1㊦下落。家計のサービス・住宅と雇用以外で下落。「自由意見」では先行き不安が多い。

区分	現状判断DI		先行判断DI	
	今回	差	今回	差
全業種	46.9	3.6	44.1	▲3.1
家計	52.8	10.4	46.0	▲1.8
小売	51.1	4.7	45.7	▲5.5
飲食	58.3	28.3	41.7	▲18.3
サービス	55.4	7.3	44.6	6.1
住宅	50.0	21.4	56.3	9.9
企業	30.4	▲12.8	33.9	▲11.6
雇用	41.7	▲8.3	54.2	8.4

(産業創出課)

■ 経済・景気四方山話:見直されるべき

地域国際化の政策プライオリティ!

地域国際化とは、地域において国際交流と国際協力を促進すること及び促進のための国際化インフラ^{*1}の整備をすることである。これらにより地域の経済力と魅力が高まる。’87年に「国際交流のあり方に関する指針」(旧自治省)が公表されたこともあり、各自治体は海外都市との姉妹都市提携や各種国際交流協会等設置等の地域国際化政策を進めている。地域国際化を進める主要要素を下表に整理し、以下、その主な時代変化を概観し、地域国際化の新たな視点について考える。

地域国際化の主要要素

区分	産業・技術等	社会(人・芸術文化等)
輸入	輸入、外国人雇用	外国人居住、留学生、海外旅行者
輸出	輸出、海外投資、経済協力	海外移住、留学、海外旅行
相互交流	情報交換、業務提携	提携都市、国際イベント、異文化交流

(注)本誌第17号(H19/6)及び本誌第62号(H30/9)参照。

^{*1} 通関手続き機関の設置(インランドデポ等)、国際人材の養成(仲介者、通訳・ガイド等)、地域・観光案内の整備(多言語表示等)及び海外投資促進組織、外国語教育・普及組織、文化交流組織、外国人生活支援組織等をいう。

まず上表最上段の「産業・技術等」。この分野の背景は大きく変わった。かつての東南アジア等で工業部品を生産し、先進諸国で製品化する国際的垂直分業は崩れ、今では、台湾、韓国等の技術力向上や中国の世界の工業化や大消費市場化等で、国際的 horizontals 分業である国際的サプライチェーン(供給体制)になっている。

このような状態からして、この分野は、もはや地域国際化の政策の範疇から逸脱している。

次に同上の「社会(人・芸術文化等)」。第一に、この背景。国際^{*2}に対する人々の認識が変わってきた。最近では、例えばウクライナ紛争による資源高騰が我々の生計に直ぐ影響するというような国際問題が数多くなり、今や国際問題が日常となっている。また、最近の海外TVのニュースには、字幕や吹替が入るようになったこと、日本の一都市の交通事故の画面の次に米国の一都市の犯罪事件の画面が続くこと(その前は海外ニュースとして括られていた)、などに違和感を覚えなくなっており、無意識のうちに国際が身近になってきたように感じる。言葉の面でも、街中で日本語を話す外国人は前と比較にならないほど多くなってきており、かつてはこちらから話しかける英語は「ゆっくり明瞭に、アクセント(強弱)をつけて」(外国人には日本語の平板な発音は分かりに

くい)などを喚起したものだが^{*3}、今はそんな必要はない。このように我々の国際感覚が変わってきた今、地域国際化を特別な枠組みで、特別な取り組みでとらえる必要性は薄れてきていると思う。

^{*2} “国際”とは、国・地域同士の“際”(キワ)で、①“他との境となるところ”=空間的概念、②“相接して互いにすれ合うあるいはふれあうこと”=社会的概念)の二つの意味を待つ。本稿では、②の意味で使っている。

^{*3} 本誌“実践的英語考”(No.46平成26年9月)参照されたい。

第二は、インバウンド^{*4}。これまで日本通の好事家のものだった“和風料理”(配膳を含む)や“伝統工芸”(陶芸、織物、塗り物、刀剣等)が、最近では飲食店・居酒屋、やきとり、そば・ラーメン、惣菜、自動販売機等も大うけしており、わが国の“きめ細やかさ”が再評価されている。以上のような日本再評価の流れに、最近の円安が加わり、インバウンドが多くなることは間違いない。

この動向を地域国際化の政策としてどう取り組むかは、喫緊の課題である。

^{*4} 元々は“境界”(bound)の“中に”(in)の意味で、“外から入ってくる観光客”という形容的な意味で使う。ただし最近では“インバウンド”だけで訪日観光客の意味で使っている。

第三は、地域への外国人の受け入れ。わが国の決定的な労働力不足の解消策の一つとして、外国人雇用、正確には在留資格者を増やすことが有効である。ここで在留資格者とは、“外国人が日本で一定の活動ができる資格者”のことで、「入管法」の付表等に27種類の業種が示されている(主要業種別のいわき市の在留者は次表のとおり)。

主要業務(注)	総数	主要国別(人数:20人以上)
高度専門職、研究教育、介護、特定技能、技能実習等	867	ベトナム631、ネパール63、中国44、フィリピン41、ミャンマー27
留学、研修、家族滞在	321	ネパール120、中国67、ベトナム33
国指定特定産業分野	202	ベトナム100、ミャンマー50、ネパール22
永住者、配偶者等	1136	フィリピン372、中国254、韓国・朝鮮241
合計(上欄+その他114人)	2640	(参考)国別総数: ベトナム1168、フィリピン826、中国730、韓国・朝鮮520、ネパール388、ミャンマー104、タイ38、インドネシア34

(注)「入国管理法」別表から抜粋。

(出所)いわき市市民課

現状、いわき市の労働需給はひっ迫していないが、首都圏における特定の業種の外国人労働者の奪い合いを見るにつけ、将来の労働力不足に備えておくべきと思う。

市は、これまで述べてきた動向を踏まえ、地域国際化の政策プライオリティを、これまでの“外国人の交流・支援”から“外国人来訪者・居住者の誘致”及び“多文化の共生社会づくり”(「第四次男女共同参画プラン」令和4年3月いわき市)に引き上げるべきと考える。

(東日本国際大学名誉教授 大川信行)

I 経済・景気調査：令和4年第Ⅲ四半期（7～9月）

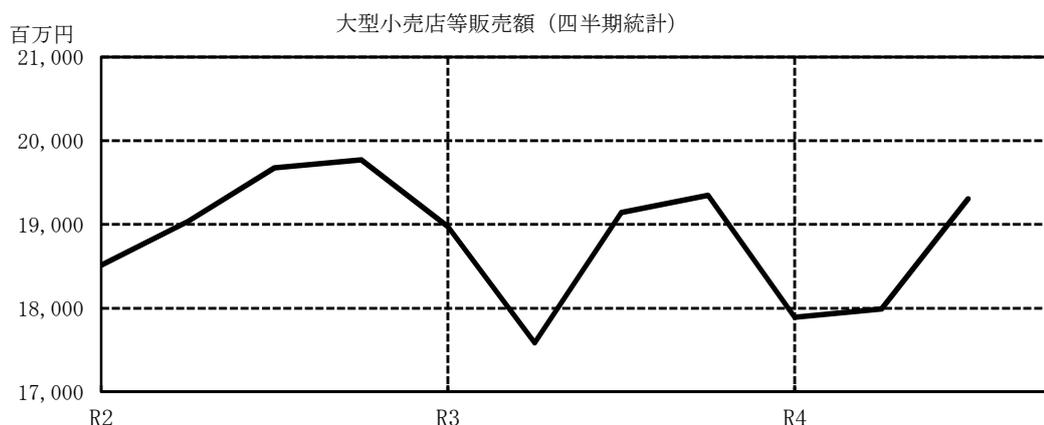
1 いわき市の経済の動き

（1） 主要部門の動向（令和4年第Ⅲ四半期（7～9月）の状況）

① 需要動向

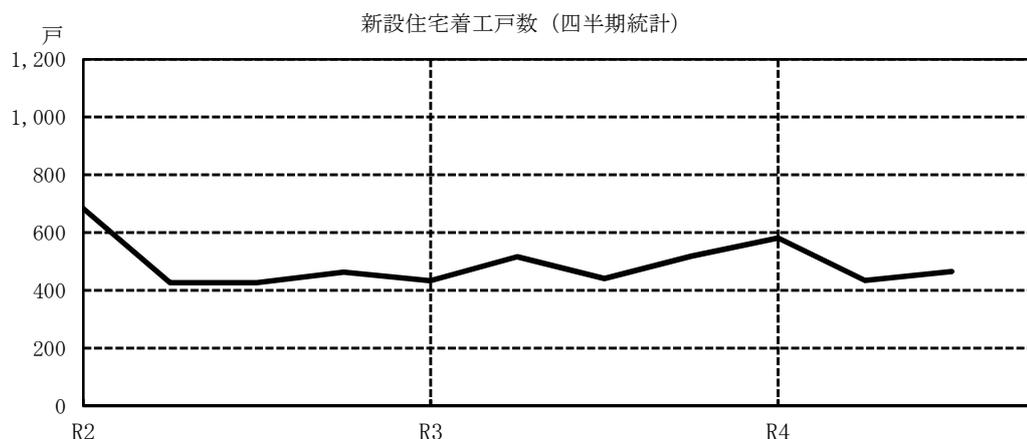
【個人消費】 ○ 第Ⅲ四半期（7～9月）の大型小売店等販売額は約193億円（前年同期比0.9%の増加）となり、2四半期連続で前年の水準を上回った。

○ 自動車新規登録台数は3,643台（前年同期比1.3%の増加）となり、5四半期振りに前年の水準を上回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は466戸（前年同期比5.7%の増加）となり、2四半期振りに前年の水準を上回った。

○ 公共工事等受注額は約133億円（前年同期比0.1%の増加）となり、4四半期振りに前年の水準を上回った。



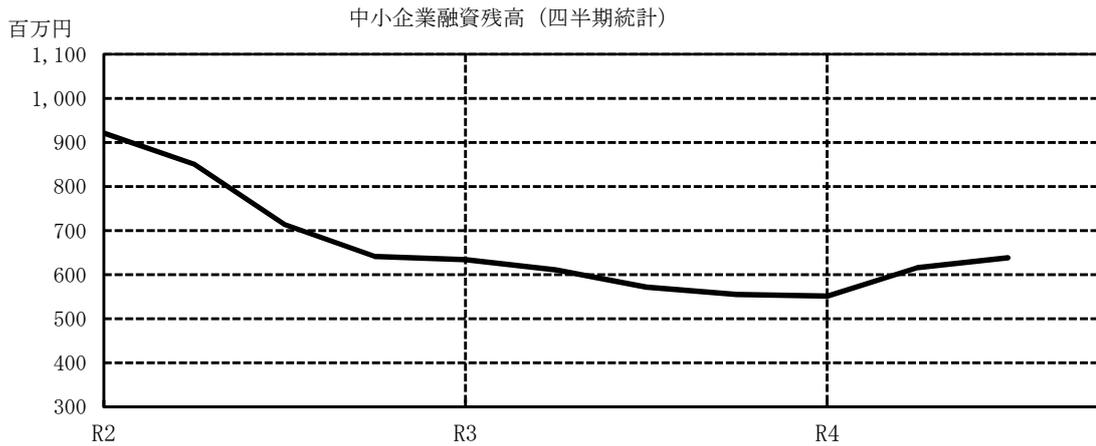
【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、95.1（前年同期比100.8%の上昇）となり、3四半期連続で前年の水準を上回った。

② 企業動向

【生産活動】 ○ 第Ⅲ四半期（7～9月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約37億円（前年同期比8.4%の増加）となり、4四半期連続で前年の水準を上回った。

【企業活動】 ○ いわき市中小企業融資残高は約6.4億円（前年同期比11.6%の増加）となり、2四半期連続で前年の水準を上回った。

○ 負債1千万円以上の企業倒産件数は2件（前年同期と同数）となった。

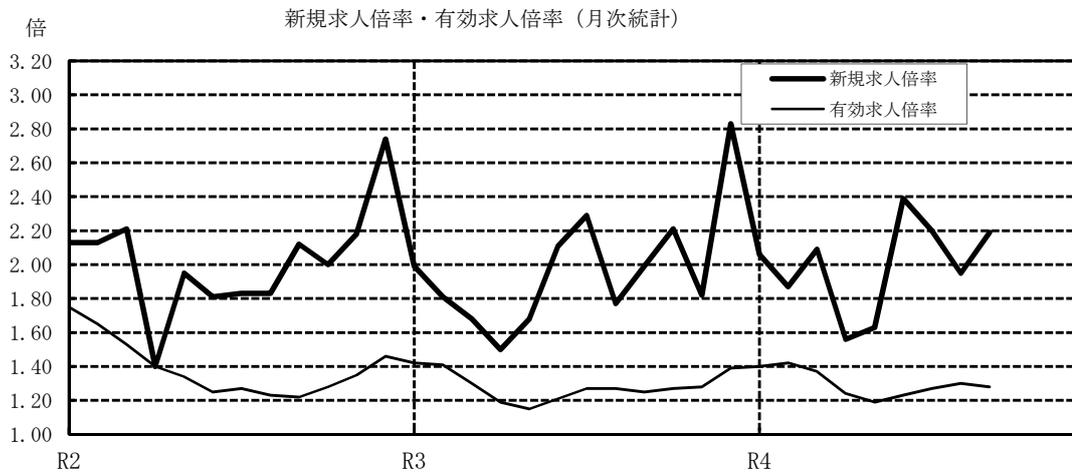


③ 雇用情勢

【雇 用】 ○ 9月の新規求人倍率は2.19倍（前年同月より0.2ポイントの上昇）となり、2ヵ月連続で前年の水準を上回った。

○ 9月の有効求人倍率は1.28倍（前年同月より0.03ポイントの上昇）となり、2ヵ月連続で前年の水準を上回った。

○ 第Ⅲ四半期（7～9月）の雇用保険受給者実人員は3,885人（前年同期比3.1%の減少(=改善)）となり7四半期連続で前年の水準を下回った(改善した)。



(2) 主要経済データ

区分	需要動向													
	個人消費				建設需要				観光需要					
	大型小売店等販売額	前年同期比	自動車新規登録台数	前年同期比	新設住宅着工戸数	前年同期比	建築確認申請受付件数	前年同期比	公共工事等受注額	前年同期比	観光施設利用者指数	前年同期比	入湯税調定人員	前年同期比
(百万円)	(%)	(台)	(%)	(戸)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)	(H24・四半期平均=100)	(%)	(人)	(%)	
【年次統計】														
平成29年	79,785	-2.4	20,681	3.2	3,448	0.8	1,467	-5.9	42,827	-12.8	398	0.2	696,264	-1.4
平成30年	77,103	-3.4	20,332	-1.7	2,417	-29.9	1,292	-11.9	23,677	-44.7	395	-0.8	678,555	-2.5
令和元年	74,924	-2.8	21,098	3.8	1,646	-31.9	1,084	-16.1	45,162	90.7	367	-6.9	640,323	-5.6
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	195	-47.0	359,932	-43.8
令和3年	75,051	-2.5	16,318	-9.9	1,911	-4.5	1,077	8.2	87,871	85.0	177	-9.2	301,384	-16.3
【四半期統計】														
令和2年 IV	19,772	1.6	4,542	-15.2	463	113.4	248	12.7	16,283	68.6	62.6	-16.2	111,954	-27.9
令和3年 I	18,974	2.5	5,541	-1.6	434	-36.5	279	25.7	53,279	283.6	31.4	-42.9	57,466	-64.3
II	17,586	-7.6	3,745	11.9	517	21.1	273	15.2	6,251	-21.7	36.6	238.2	50,519	61.4
III	19,144	-2.7	3,597	-21.5	441	3.3	270	-6.3	13,313	42.4	47.4	-28.7	85,941	54.7
IV	19,347	-2.1	3,435	-24.4	519	12.1	255	2.8	15,028	-7.7	61.6	-1.6	107,458	-4.0
令和4年 I	17,893	-5.7	4,595	-17.1	582	34.1	239	-14.3	10,527	-80.2	43.4	38.3	88,479	54.0
II	17,992	2.3	3,128	-16.5	435	-15.9	294	7.7	5,685	-9.1	62.6	71.1	86,525	71.3
III	19,308	0.9	3,643	1.3	466	5.7	314	16.3	13,321	0.1	95.1	100.8	122,725	42.8
【月次統計】														
令和2年10月	6,223	4.8	1,633	26.7	174	21.7	87	22.5	4,170	-22.1	20.2	-9.6	35,442	-35.9
11月	6,005	0.7	1,588	-32.0	154	1,084.6	80	23.1	2,038	-19.6	23.5	-9.0	37,682	-21.2
12月	7,544	-0.2	1,321	-23.7	135	121.3	81	-3.6	10,075	469.4	18.9	-28.8	38,830	-25.6
令和3年1月	6,470	7.1	1,494	-8.9	83	-53.4	78	8.3	2,538	33.8	8.6	-64.6	19,058	-65.5
2月	6,025	1.8	1,743	1.5	220	-40.2	90	23.3	38,845	1,453.2	8.5	-61.9	14,694	-74.2
3月	6,479	-1.1	2,304	1.3	131	-5.1	111	44.2	11,897	25.3	14.3	69.6	23,714	-51.6
4月	5,743	-7.1	1,276	13.5	175	6.1	84	5.0	1,739	138.1	11.2	474.4	16,285	-20.3
5月	6,047	-6.0	1,187	39.5	165	150.0	86	30.3	1,505	-33.0	13.0	1,789	16,890	119.5
6月	5,796	-9.7	1,282	-6.6	177	-9.7	103	13.2	3,007	-39.9	12.3	51.0	17,344	446.4
7月	6,389	-0.2	1,351	-9.0	147	-3.3	90	-4.3	4,989	56.5	21.0	20.4	27,895	217.7
8月	6,691	-5.1	1,082	-13.0	154	4.1	80	-15.8	2,844	6.6	16.7	-37.9	33,102	81.2
9月	6,064	-2.6	1,164	-37.3	140	10.2	100	1.0	5,480	56.8	9.6	-56.3	24,944	-12.5
10月	6,108	-1.8	1,009	-38.2	186	6.9	88	1.1	10,798	158.9	17.8	-11.7	33,000	-6.9
11月	5,855	-2.5	1,342	-15.5	119	-22.7	87	8.7	1,029	-49.5	21.6	-8.3	34,851	-7.5
12月	7,384	-2.1	1,084	-17.9	214	58.5	80	-1.2	3,201	-68.2	22.2	17.4	39,607	2.0
令和4年1月	5,976	-7.6	1,302	-12.9	323	289.2	72	-7.7	1,722	-32.2	16.3	89.9	39,607	107.8
2月	5,594	-7.2	1,378	-20.9	125	-43.2	68	-24.4	2,650	-93.2	9.3	9.9	32,721	122.7
3月	6,323	-2.4	1,915	-16.9	134	2.3	99	-10.8	6,156	-48.3	17.8	24.1	16,151	-31.9
4月	5,930	3.3	1,047	-17.9	224	28.0	111	32.1	1,695	-2.5	16.8	49.6	27,481	68.8
5月	6,116	1.1	968	-18.4	68	-58.8	63	-26.7	159	-89.5	26.4	102.9	28,930	71.3
6月	5,946	2.6	1,113	-13.2	143	-19.2	120	16.5	3,831	27.4	19.4	57.0	30,114	73.6
7月	6,518	2.0	1,218	-9.8	188	27.9	81	-10.0	4,614	-7.5	26.0	23.5	31,467	12.8
8月	6,737	0.7	994	-8.1	100	-35.1	117	46.3	4,158	46.2	43.8	162.9	37,199	12.4
9月	6,053	-0.2	1,431	22.9	178	27.1	116	16.0	4,549	-17.0	25.3	162.4	54,059	116.7
出典：	いわき市産業創出課		いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部		いわき市産業創出課(市内主要観光施設の利用者数を指数化)		いわき市市民税課	

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合、速報値を含む。
 四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分	企業動向													
	生産活動				企業活動									
	いわき市中央卸売市場取扱高		小名浜港輸入通関実績		いわき市中小企業融資残高		いわき市中小企業融資利率		信用保証承諾額		信用保証協会代位弁済		手形交換高	
年 月	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
【年次統計】														
平成29年	14,058	-1.1	319,842	42.3	1,207	-2.3	1.94	-0.1	15,790	-7.5	496	-18.5	121,254	-5.7
平成30年	13,933	-0.9	378,337	18.3	1,155	-4.3	2.04	0.1	18,640	18.1	602	21.6	118,174	-2.5
令和元年	12,898	-7.4	345,294	-8.7	1,009	-12.7	2.05	0.0	21,136	13.4	964	60.1	114,743	-2.9
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9	108,605	-5.3
令和3年	13,930	2.8	355,137	10.4	593	-24.1	2.06	-0.1	37,047	-45.5	220	-60.7	94,290	-13.2
【四半期統計】														
令和2年														
IV	4,054	16.8	75,231	-2.9	641	-32.3	2.20	0.12	12,703	133.9	63	-48.6	23,588	-6.9
令和3年														
I	3,000	6.0	69,240	-7.2	634	-31.2	2.10	0.10	18,749	197.1	113	-53.4	24,504	-12.9
II	3,287	6.8	77,893	-12.7	610	-28.2	2.18	-0.02	7,023	-74.6	19	-83.4	26,962	-12.0
III	3,422	-4.6	106,699	29.4	572	-19.8	1.82	-0.38	6,050	-71.6	42	-70.3	22,493	-14.3
IV	4,221	4.1	101,305	34.7	555	-13.4	2.20	0.00	5,224	-58.9	46	-26.1	20,330	-13.8
令和4年														
I	3,149	5.0	102,907	48.6	551	-13.0	2.02	-0.08	6,536	-65.1	265	134.3	21,543	-12.1
II	3,302	0.4	160,831	106.5	616	0.9	1.33	-0.85	3,471	-50.6	50	168.7	21,176	-21.5
III	3,711	8.4	166,716	56.2	639	11.6	2.03	0.21	5,912	-2.3	242	473.0	14,525	-35.4
【月次統計】														
令和2年10月	1,141	11.2	32,673	61.9	660	-31.0	2.20	0.00	4,270	170.6	15	-41.3	5,807	-28.5
11月	1,011	-9.8	25,594	-18.3	640	-32.2	-	-	3,640	121.3	13	-79.9	9,345	34.5
12月	1,902	43.7	16,964	-34.6	622	-33.7	2.20	0.35	4,793	117.2	35	2.6	8,436	-17.8
令和3年1月	942	-5.3	20,031	-8.2	632	-31.9	2.20	0.00	2,314	45.7	56	290.5	7,056	-30.5
2月	974	28.6	23,844	-5.6	641	-30.7	2.20	0.60	5,005	200.1	2	-97.5	7,192	6.1
3月	1,084	0.5	25,365	-7.9	628	-31.0	1.90	-0.30	11,430	274.3	55	-66.7	10,256	-8.5
4月	1,133	16.7	25,825	-12.4	622	-30.0	2.20	0.00	3,559	-7.1	0	-100.0	8,579	-16.6
5月	1,104	6.3	24,688	-25.4	611	-29.6	2.20	-	1,289	-87.4	0	-100.0	9,886	19.2
6月	1,051	-1.7	27,380	2.5	599	-24.7	2.15	-	2,175	-84.0	19	-	8,497	-29.5
7月	1,259	2.8	28,733	-2.8	579	-21.8	2.20	-	2,039	-78.5	13	-11.6	5,561	-38.7
8月	1,128	-10.4	33,659	60.7	584	-18.5	1.55	-0.65	1,420	-77.7	7	-	10,362	13.0
9月	1,035	-6.1	44,307	38.6	553	-19.1	1.70	-0.50	2,591	-52.0	22	-82.6	6,570	-17.9
10月	1,141	0.0	42,892	31.3	540	-18.1	-	-	1,290	-69.8	0	-100.0	4,971	-14.4
11月	1,202	18.9	26,434	3.3	566	-11.6	2.20	-	1,538	-57.8	5	-58.5	7,975	-14.7
12月	1,877	-1.3	31,979	88.5	560	-10.1	2.20	0.00	2,396	-50.0	41	16.5	7,385	-12.5
令和4年1月	1,025	8.8	37,863	89.0	552	-12.6	1.95	-0.25	1,212	-47.6	45	-19.5	7,312	3.6
2月	975	0.1	27,215	14.1	542	-15.4	-	-	1,614	-67.7	206	-	6,410	-10.9
3月	1,149	6.0	37,829	49.1	559	-11.0	2.09	0.19	3,709	-67.6	13	-76.0	7,821	-23.7
4月	1,141	0.7	54,696	111.8	580	-6.7	1.20	-1.00	927	-74.0	0	-	5,993	-30.1
5月	1,093	-1.0	51,007	106.6	630	3.0	1.68	-0.52	1,245	-3.4	38	-	9,941	0.6
6月	1,068	1.7	55,128	101.3	639	6.8	1.10	-1.05	1,298	-40.3	12	-34.3	5,243	-38.3
7月	1,275	1.3	46,274	61.0	632	9.2	2.12	-0.08	1,702	-16.5	102	665.6	3,243	-41.7
8月	1,278	13.3	60,189	78.8	628	7.6	2.20	0.65	1,411	-0.7	4	-37.7	6,888	-33.5
9月	1,158	11.9	60,253	36.0	655	18.5	1.77	0.07	2,800	8.0	136	513.1	4,394	-33.1
出典：	いわき市中央卸売市場（水産）	横浜税関		いわき市産業創出課（年次統計は12カ月の平均値、四半期統計は3カ月の平均値） ”-”は実績なし。実績ない月は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会				いわき手形交換所		

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7～9月、IVは10～12月を示す。

区 分	企業動向											
	企業活動		倒産				中小企業DI調査					
	法人市 民税調 定額		企業倒 産件数		企業倒 産負債 総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービ ス 業	総合 (全業種)
	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比								
年 月	(百万円)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)						
【年次統計】												
平成29年	4,610	1.7	9	12.5	2,295	-69.6	-	-	-	-	-	-
平成30年	5,111	10.9	15	66.7	9,581	317.5	-	-	-	-	-	-
令和元年	4,101	-19.8	14	-6.7	1,669	-82.6	-	-	-	-	-	-
令和2年	4,199	2.4	14	0.0	1,186	-28.9	-	-	-	-	-	-
令和3年	3,312	-21.1	10	-28.6	1,375	15.9	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】												
令和2年 IV	1,099	-19.4	3	0.0	189	139.2	-	-	-	-	-	-
令和3年 I	392	-27.7	2	-60.0	198	-68.5	-	-	-	-	-	-
II	1,223	-14.7	2	0.0	165	200.0	-	-	-	-	-	-
III	862	-23.4	2	-50.0	545	74.1	-	-	-	-	-	-
IV	836	-23.9	4	33.3	467	147.1	-	-	-	-	-	-
令和4年 I	459	17.1	4	100.0	578	191.9	-	-	-	-	-	-
II	1,199	-2.0	1	-50.0	477	189.1	-	-	-	-	-	-
III	726	-15.7	2	0.0	137	-74.9	-	-	-	-	-	-
【月次統計】												
令和2年10月	112	-13.7	1	-50.0	90	60.7	-	-	-	-	-	-
11月	915	1.5	2	-	99	-	-	-	-	-	-	-
12月	72	-78.3	0	-100.0	0	-100.0	-59.4	-40.0	-50.0	-80.0	-70.0	-59.8
令和3年1月	84	0.5	1	-75.0	188	-68.3	-	-	-	-	-	-
2月	122	-17.0	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-
3月	186	-40.3	0	-100.0	0	-100.0	-26.7	-16.6	-44.4	-75.0	-70.0	-41.3
4月	110	-35.3	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	293	-2.6	2	100.0	165	534.6	-	-	-	-	-	-
6月	820	-14.8	0	-100.0	0	-100.0	0.0	-10.0	-37.5	-54.6	-20.0	-17.7
7月	422	-34.7	1	-	260	-	-	-	-	-	-	-
8月	340	-1.5	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
9月	100	-25.2	1	-50.0	285	26.7	-18.5	-20.0	-25.0	-60.0	-66.7	-32.8
10月	78	-29.8	2	100.0	116	28.9	-	-	-	-	-	-
11月	703	-23.2	2	0.0	351	254.5	-	-	-	-	-	-
12月	55	-24.2	0	-	0	-	3.0	-22.2	-20.0	-33.3	-30.0	-12.7
令和4年1月	111	32.4	2	100.0	365	94.1	-	-	-	-	-	-
2月	132	8.4	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
3月	216	15.9	2	-	213	-	-7.4	-30.8	-25.0	-33.3	-50.0	-23.8
4月	114	3.5	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	283	-3.6	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
6月	802	-2.2	1	-	477	-	0.0	-44.0	-25.0	-50.0	22.2	-12.5
7月	342	-18.9	1	0.0	127	-51.2	-	-	-	-	-	-
8月	295	-13.2	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-
9月	89	-10.6	0	-100.0	0	-100.0	-21.9	-25.0	9.1	-11.1	25.0	-12.5
出典：	いわき市市民 税課(法人税 割)	東京商工リサーチ(負債総額 1,000万円以上)				福島県産業振興センター(前年同月比で「良化」-「悪化」社数構 成比(各月末時点) 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査						

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてIは1~3月、IIは4~6月、IIIは7~9月、IVは10~12月を示す。

区 分	雇 用						そ の 他						
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)				
	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	家計動向	企業動向	雇用関連	総合	
年 月	(倍)	(%p)	(倍)	(%p)	(人)	(%)	(千台)	(%)					
【年次統計】													
平成29年	2.12	-0.02	1.59	-0.08	14,073	1.0	12,117	-0.5	-	-	-	-	
平成30年	2.21	0.09	1.62	0.03	13,079	-7.1	10,170	-16.1	-	-	-	-	
令和元年	2.14	-0.07	1.57	-0.05	13,479	3.1	9,319	-8.4	-	-	-	-	
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	-	-	-	-	
令和3年	1.99	0.08	1.29	-0.04	14,808	-6.4	7,427	-4.3	-	-	-	-	
【四半期統計】													
令和2年 IV	-	-	-	-	3,869	10.5	2,068	-14.1	-	-	-	-	
令和3年 I	-	-	-	-	3,493	-2.2	1,801	-15.0	-	-	-	-	
II	-	-	-	-	3,791	-1.0	1,787	16.7	-	-	-	-	
III	-	-	-	-	4,011	-12.0	1,806	-11.5	-	-	-	-	
IV	-	-	-	-	3,513	-9.2	2,033	-1.7	-	-	-	-	
令和4年 I	-	-	-	-	3,248	-7.0	1,747	-3.0	-	-	-	-	
II	-	-	-	-	3,484	-8.1	1,955	9.4	-	-	-	-	
III	-	-	-	-	3,885	-3.1	2,087	15.6	-	-	-	-	
【月次統計】													
令和2年10月	2.00	-0.22	1.28	-0.24	1,389	21.5	704	-13.9	-	-	-	-	
11月	2.18	-0.32	1.35	-0.36	1,255	7.6	699	-12.9	38.8	30.4	46.4	38.0	
12月	2.74	0.11	1.46	-0.32	1,225	2.9	664	-15.5	-	-	-	-	
令和3年1月	1.99	-0.14	1.42	-0.33	1,215	-2.5	555	-25.1	-	-	-	-	
2月	1.81	-0.32	1.41	-0.24	1,131	2.2	557	-19.3	46.8	38.5	62.5	46.6	
3月	1.68	-0.53	1.30	-0.23	1,147	-5.8	690	0.0	-	-	-	-	
4月	1.50	0.10	1.19	-0.21	1,244	7.1	610	24.9	-	-	-	-	
5月	1.68	-0.27	1.15	-0.19	1,196	2.9	573	27.4	48.8	43.4	53.6	48.0	
6月	2.11	0.30	1.21	-0.04	1,351	-10.4	603	1.7	-	-	-	-	
7月	2.29	0.46	1.27	0.00	1,357	-13.2	664	-1.1	-	-	-	-	
8月	1.77	-0.06	1.27	0.04	1,374	-9.2	579	-16.2	36.6	45.6	41.7	38.9	
9月	1.99	-0.13	1.25	0.03	1,280	-13.5	563	-17.1	-	-	-	-	
10月	2.21	0.21	1.27	-0.01	1,215	-12.5	657	-6.7	-	-	-	-	
11月	1.82	-0.36	1.28	-0.07	1,137	-9.4	681	-2.6	55.8	45.0	54.2	53.4	
12月	2.83	0.09	1.39	-0.07	1,161	-5.2	695	4.6	-	-	-	-	
令和4年1月	2.06	0.07	1.40	-0.02	1,089	-10.4	596	7.5	-	-	-	-	
2月	1.87	0.06	1.42	0.01	1,027	-9.2	502	-9.9	52.3	41.7	54.2	50.3	
3月	2.09	0.41	1.37	0.07	1,132	-1.3	649	-5.9	-	-	-	-	
4月	1.56	0.06	1.24	0.05	1,109	-10.9	647	6.1	-	-	-	-	
5月	1.63	-0.05	1.19	0.04	1,084	-9.4	667	16.3	52.5	56.3	58.3	53.8	
6月	2.39	0.28	1.23	0.02	1,291	-4.4	641	6.3	-	-	-	-	
7月	2.20	-0.09	1.27	0.00	1,256	-7.4	689	3.8	-	-	-	-	
8月	1.95	0.18	1.30	0.03	1,369	-0.4	727	25.5	47.8	45.5	45.8	47.2	
9月	2.19	0.20	1.28	0.03	1,260	-1.6	671	19.3	-	-	-	-	
出典：	ハローワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業創出課（H30.1調査開始）景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。				

2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和4年第Ⅲ四半期（7～9月）の状況）

（1） C I（コンポジット・インデックス）

① 概要

9月のCIは、先行指数が99.7、一致指数が94.6、遅行指数が90.9となった。

② 指数別の動向（指数は平成27年の水準を100とする）

【先行指数】 9月は99.7ポイントで、3ヵ月振りに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、新設住宅着工戸数（2ヵ月振り）、新規求人倍率（3ヵ月振り）等の4指標、マイナスの指標は、建築確認申請受付件数（2ヵ月振り）、鉱工業在庫率指数（逆）（2ヵ月振り）の4指標であった。

【一致指数】 9月は94.6ポイントで、7ヵ月連続で上昇した。

寄与度がプラスの指標は、いわき市中小企業融資残高（2ヵ月振り）、高速道路出入交通量（4ヵ月振り）等の3指標、マイナスの指標は、有効求人倍率（4ヵ月振り）、鉱工業出荷指数（4ヵ月振り）の6指標であった。

【遅行指数】 9月は90.9ポイントで、3ヵ月振りに下降した。

寄与度がプラスの指標は、鉱工業在庫指数（4ヵ月連続）、いわき市中央卸売市場取扱高（2ヵ月振り）等の6指標、マイナスの指標は、いわき市中小企業融資利率（3ヵ月振り）、法人市民税調定額（2ヵ月振り）の2指標であった。

※C Iの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

③ 指数の推移及び寄与度の内訳（C Iの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（平成27年=100）

区 分	令和3年			令和4年								
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
先行指数（C.I.）	88.3	91.6	97.0	99.4	90.3	95.3	100.2	90.3	102.6	98.9	97.5	99.7
前月差(ポイント)（寄与度合計）	2.99	3.34	5.40	2.35	-9.03	4.97	4.89	-9.93	12.31	-3.65	-1.47	2.20
先行系列寄与度内訳												
1. 自動車新規登録台数	0.45	3.51	-0.67	0.49	-0.38	1.03	0.65	-1.19	1.22	1.73	-0.44	0.77
2. 新設住宅着工戸数	0.59	-1.07	1.97	2.52	-3.69	1.64	0.92	-3.31	1.94	0.85	-1.70	2.14
3. 建築確認申請受付件数	0.15	0.35	-1.04	0.69	-2.11	2.52	3.01	-3.72	3.79	-3.72	3.88	-1.14
4. 鉱工業在庫率指数（逆）	-0.08	0.43	-1.40	-0.66	-0.88	-0.83	1.05	0.12	-0.05	-0.13	0.06	-1.07
5. 中小企業DI（全業種）	0.00	0.00	2.93	-0.04	-0.04	-1.56	-0.01	-0.01	1.60	-0.04	-0.04	-0.02
6. 新規求人倍率	1.75	-3.37	3.57	-0.76	-1.09	2.21	-0.84	-2.84	3.73	-2.49	-1.62	1.28
7. いわき市景気ウエッジ-先行き判断DI	0.02	3.37	-0.05	-0.05	-0.84	-0.03	-0.03	0.88	-0.04	-0.04	-1.82	-0.01
8. 一致指数トレンド成分	0.12	0.12	0.10	0.15	0.01	-0.01	0.14	0.14	0.13	0.19	0.20	0.26
一致指数（C.I.）	82.1	84.6	85.3	82.4	77.1	80.8	86.7	90.0	91.7	92.0	94.2	94.6
前月差(ポイント)（寄与度合計）	4.34	2.53	0.74	-2.90	-5.37	3.71	5.92	3.30	1.73	0.25	2.20	0.45
一致系列寄与度内訳												
1. 公共工事受注額	0.85	-0.17	-1.02	-0.17	-1.51	-1.49	-0.04	-0.46	0.25	-0.15	0.42	-0.34
2. 観光施設利用者指数	1.46	0.94	0.70	-0.88	-1.48	1.47	1.33	1.63	-1.11	0.77	-0.39	0.28
3. 大型小売店等販売額	0.15	-0.11	0.09	-1.09	0.10	0.91	1.14	-0.44	0.31	-0.13	-0.31	-0.20
4. 鉱工業生産指数	-0.28	0.38	-0.50	-0.27	-0.17	-0.21	-0.08	0.01	0.81	-0.53	1.53	-0.29
5. 鉱工業出荷指数	0.25	0.67	-1.03	0.02	-0.13	-0.75	0.53	-0.25	0.41	0.19	0.76	-0.44
6. 小名浜港輸出入通関実績	0.14	-0.70	0.48	0.50	-0.77	0.69	0.75	-0.03	0.25	-0.20	0.60	-0.14
7. いわき市中小企業融資残高	0.27	1.54	0.41	-0.61	-0.64	1.07	1.10	1.64	1.01	0.66	-0.47	1.73
8. 有効求人倍率	-0.04	-0.84	0.50	0.54	0.61	0.47	-0.12	-0.01	0.38	0.09	0.39	-0.48
9. 高速道路出入交通量	1.55	0.83	1.11	-0.95	-1.39	1.54	1.32	1.21	-0.58	-0.45	-0.34	0.34
遅行指数（C.I.）	82.0	84.3	84.2	88.4	86.5	84.4	84.0	87.5	84.6	88.1	90.8	90.9
前月差(ポイント)（寄与度合計）	3.17	2.20	-0.59	3.56	-2.64	-1.93	-0.14	3.86	-3.46	3.24	1.87	-0.52
遅行系列寄与度内訳												
1. 入湯税調定人員	1.91	0.34	0.33	0.27	-0.59	-1.94	1.95	0.66	0.10	0.43	0.37	0.08
2. いわき市中央卸売市場取扱高	1.89	0.23	-0.49	1.09	-1.04	0.52	-0.48	-0.01	-0.11	0.96	-0.21	0.43
3. 鉱工業在庫指数	0.30	0.08	0.55	0.63	0.71	-0.19	-0.21	-0.36	0.54	0.33	0.82	0.59
4. いわき市中小企業融資利率	0.01	0.90	-0.01	-0.46	0.00	0.85	-1.93	0.90	-1.00	1.83	1.89	-1.65
5. いわき手形交換所交換高	0.11	0.00	0.07	0.45	-0.40	-0.34	-0.15	0.84	-1.04	-0.06	0.25	0.02
6. 法人市民税調定額	-0.79	0.25	-0.06	1.31	-0.59	-0.29	-0.10	0.10	-0.02	-0.58	0.33	-0.03
7. 雇用保険受給者実人員（逆）	-0.08	0.38	-0.52	0.76	-0.02	-0.71	0.45	1.26	-1.49	0.49	-0.93	0.38
8. 一致指数トレンド成分	0.11	0.11	0.09	0.13	0.01	-0.01	0.12	0.12	0.12	0.17	0.18	0.24

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

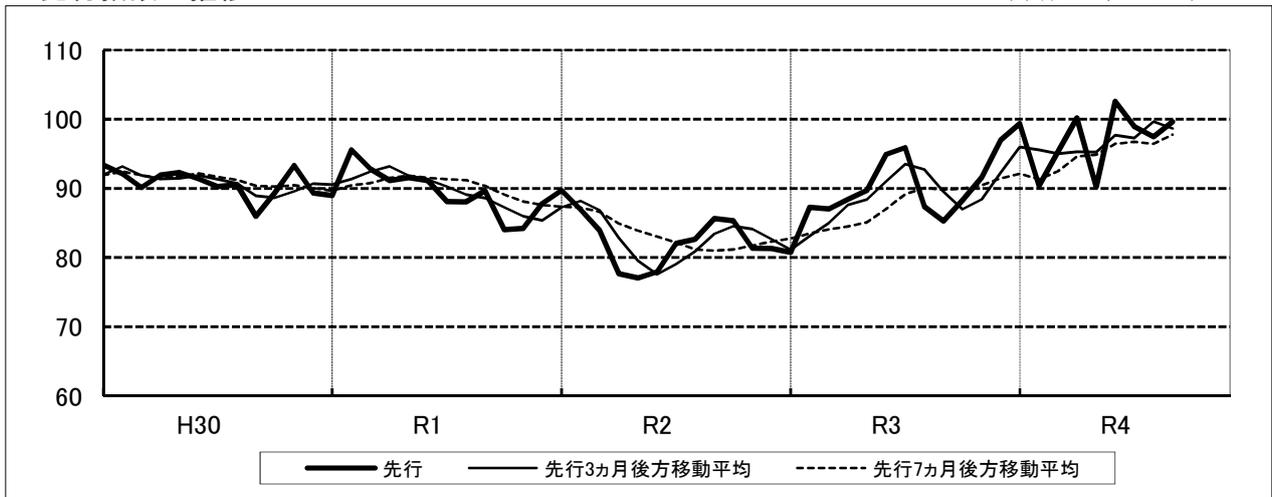
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

④ CIの推移

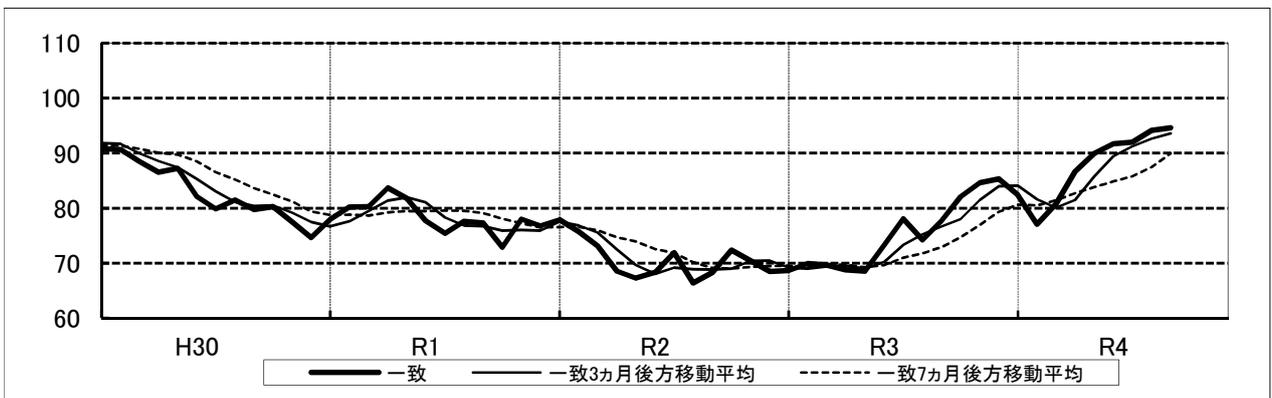
・先行指数の推移

(平成27年 = 100)



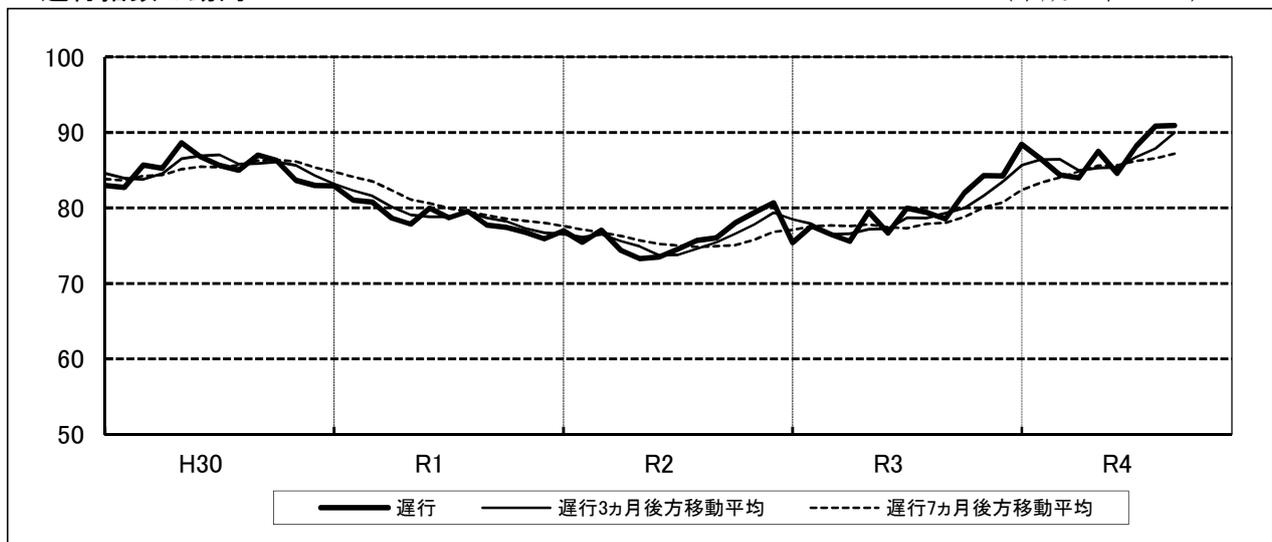
・一致指数の動向

(平成27年 = 100)



・遅行指数の動向

(平成27年 = 100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
25	102.0	105.6	109.5	105.8	111.4	111.4	118.5	119.0	113.6	113.5	123.2	118.8
26	119.0	127.6	125.9	108.4	117.2	111.2	112.1	111.2	110.4	110.0	105.0	110.0
27	109.7	101.2	105.5	99.8	97.2	100.1	99.8	98.6	98.4	98.7	98.1	92.8
28	95.0	89.6	84.1	90.9	90.0	85.5	91.1	86.6	82.0	87.1	86.0	89.5
29	84.7	87.4	88.3	90.4	88.1	94.7	88.4	93.6	95.5	89.9	88.6	93.9
30	93.4	92.1	90.1	91.9	92.3	91.4	90.3	90.5	86.0	89.4	93.3	89.3
1	89.0	95.6	92.8	91.1	91.6	91.1	88.1	88.0	89.7	84.0	84.2	87.8
2	89.7	86.9	83.9	77.6	77.1	78.0	82.1	82.6	85.6	85.3	81.3	81.3
3	80.7	87.3	87.0	88.4	89.7	94.9	95.9	87.4	85.3	88.3	91.6	97.0
4	99.4	90.3	95.3	100.2	90.3	102.6	98.9	97.5	99.7			

・一致指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
25	99.6	99.9	102.2	100.2	103.8	100.2	101.6	105.7	101.1	101.1	105.5	105.4
26	105.7	100.9	107.3	99.2	100.9	103.1	104.0	107.9	105.6	105.7	101.9	99.7
27	103.0	101.9	100.8	102.4	101.8	99.6	100.9	101.2	100.9	97.2	95.9	94.5
28	94.3	93.1	87.2	90.1	87.3	90.3	91.3	87.9	90.5	95.3	97.5	98.5
29	96.3	96.2	97.1	96.0	97.6	95.9	91.4	92.6	91.4	89.4	91.0	93.6
30	90.8	90.7	88.5	86.6	87.2	82.1	79.9	81.5	79.8	80.3	77.5	74.6
1	78.0	80.2	80.3	83.7	81.8	77.6	75.4	77.6	77.3	72.9	78.0	76.8
2	77.9	75.8	73.1	68.5	67.3	68.3	71.9	66.4	68.3	72.4	70.5	68.5
3	68.6	69.9	69.6	68.8	68.5	73.3	78.1	74.2	77.7	82.1	84.6	85.3
4	82.4	77.1	80.8	86.7	90.0	91.7	92.0	94.2	94.6			

・遅行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
25	98.0	100.7	98.8	104.7	98.8	96.7	100.4	99.1	100.1	96.9	98.5	97.8
26	98.2	99.8	99.4	99.5	102.4	104.2	99.4	99.1	97.7	98.2	98.0	100.4
27	99.8	100.4	105.4	102.7	102.0	99.2	100.6	99.8	98.8	98.4	97.8	95.2
28	94.6	98.3	94.1	93.3	93.7	90.8	90.5	92.6	90.3	92.6	89.2	88.7
29	91.3	85.5	89.2	87.1	84.2	83.8	84.1	81.4	84.2	83.3	84.5	86.1
30	83.0	82.7	85.7	85.3	88.6	86.8	85.6	85.0	87.0	86.3	83.6	83.0
1	82.9	81.0	80.8	78.7	77.8	80.0	78.7	79.6	77.7	77.4	76.8	75.9
2	77.0	75.4	77.0	74.4	73.3	73.5	74.6	75.7	76.0	78.0	79.4	80.7
3	75.4	77.6	76.5	75.6	79.5	76.7	79.9	79.4	78.5	82.0	84.3	84.2
4	88.4	86.5	84.4	84.0	87.5	84.6	88.1	90.8	90.9			

(2) DI (デフレーション・インデックス)

① 概要

【先行指数】 9月は、28.6%と4ヵ月振りに50%を下回った。

【一致指数】 9月は、55.6%と6ヵ月連続で50%を上回った。

【遅行指数】 9月は、85.7%と3ヵ月連続で50%を上回った。

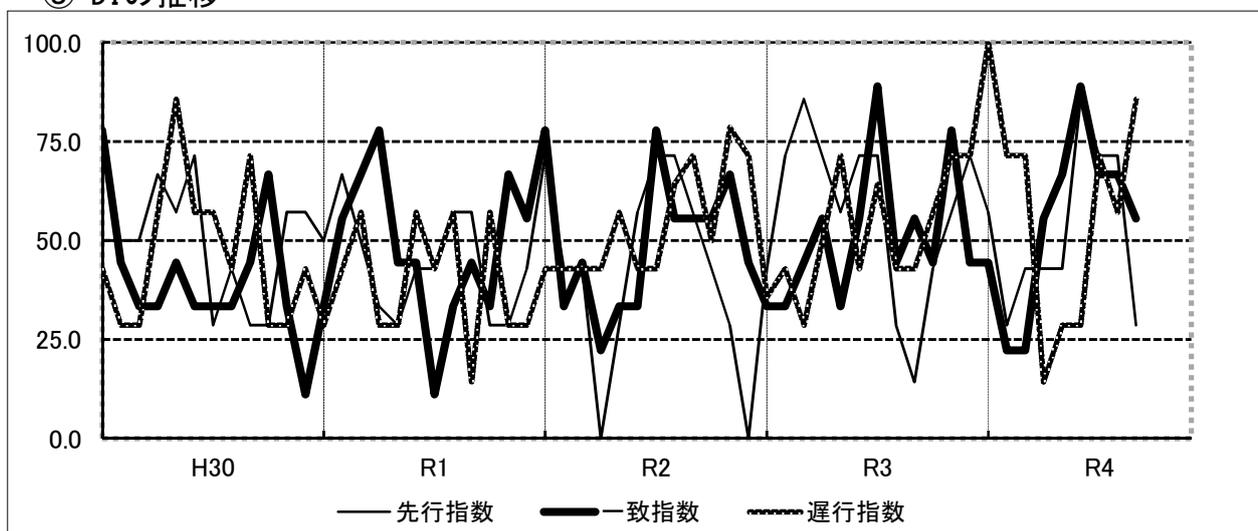
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (-景気動向指数利用の手引き-参照)

② DIの推移

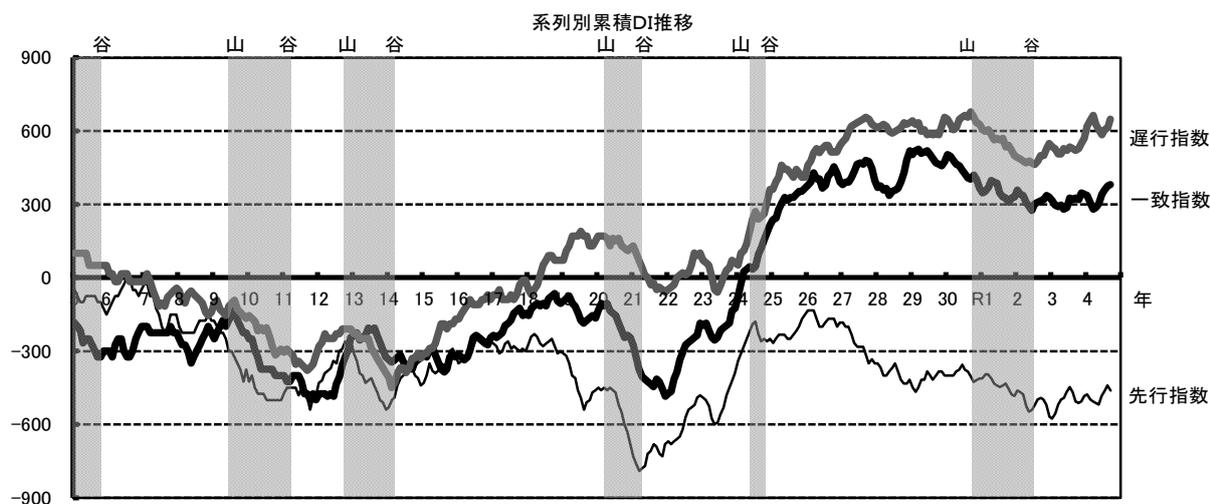
区 分	令和3年			令和4年								
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
先行指数 (D.I)	42.9	57.1	71.4	57.1	28.6	42.9	42.9	42.9	85.7	71.4	71.4	28.6
一致指数 (D.I)	44.4	77.8	44.4	44.4	22.2	22.2	55.6	66.7	88.9	66.7	66.7	55.6
遅行指数 (D.I)	57.1	71.4	71.4	100.0	71.4	71.4	14.3	28.6	28.6	71.4	57.1	85.7

注) DIは、先行(7指標)、一致(9指標)、遅行(7指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

$$\text{累積DI}(t) = \text{累積DI}(t-1) + (\text{DI}(t) - 50)$$

注2) DI及び累積DIは景気の方角性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) グラフでは各指数の動きを見やすくするため、一致指数に-200を、遅行指数に100を加算してある。

注4) 影の部分は国における景気後退期を示す。

-景気動向指数利用の手引き-

(1) 景気動向指数の概要

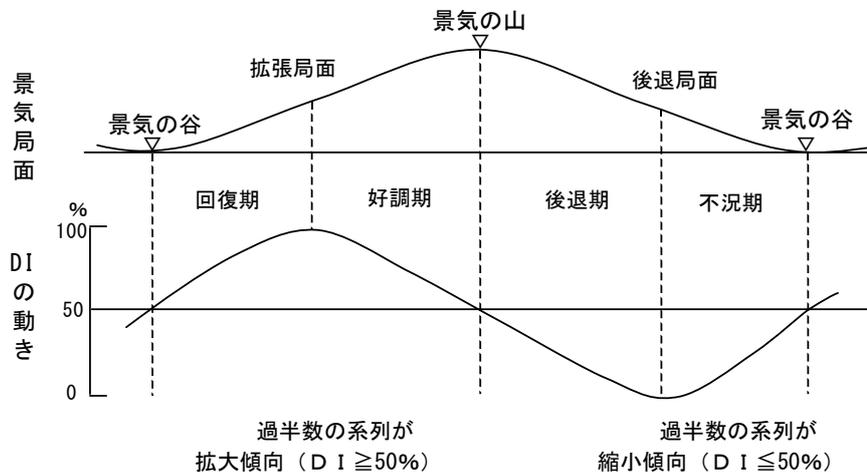
- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方角性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。
- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

(2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等9つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している（詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.htmlを参照）。
- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

(3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では9つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば $3 \div 9 \div 0.333$ (DI=33.3%) と計算する。
- 一般に、50%を上回っているときが景気の拡張局面、50%を下回っているときが後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



(4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S26. 6.	S26. 10.	第9循環	S52. 10.	S55. 2.	S58. 2.
第2循環	S26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 1.	R2. 5.

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項目		内容		原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合ー減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(または景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
	6 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワークいわき
	7 いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業創出課
一致系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第Ⅰ四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業創出課
	3 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業創出課
	4 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	5 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	6 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	7 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課
	8 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワークいわき
	9 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
遅行系列	1 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	2 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	3 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業創出課(原データ:福島県)
	4 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業創出課
	5 いわき手形交換所交換高	前	手形の交換高には、企業の取引活動の活発さが反映される。	いわき手形交換所
	6 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	7 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワークいわき

注) 季: X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前: 原数値の前年同月比、原: (四半期) 原数値、移: 12ヵ月移動平均
 逆: 景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

【参考】国・県の動き

1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	<p>(我が国経済の基調判断) 景気は、緩やかに持ち直している。 ・個人消費は、緩やかに持ち直している。 ・設備投資は、持ち直している。 ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。 ・生産は、持ち直しの動きがみられる。 ・企業収益は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。 ・雇用情勢は、持ち直している。 ・消費者物価は、上昇している。 先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。 (内閣府「月例経済報告」令和4年11月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>県内の景気は、先行きに不透明感がみられるものの、緩やかに持ち直している。 ・個人消費……持ち直しの動きがみられる。 ・建設需要……堅調な動きがみられる。 ・生産活動……持ち直しの動きが続いている。 ・雇用・労働……緩やかな改善がみられる。 ・物 価……企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。 ・企業・金融……企業倒産件数、負債総額はともに前年を上回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。 (福島県「最近の県経済動向」令和4年11月公表分)</p>

2 景気動向指数(CI)

(1) 国の動向	<p>9月のCI(速報値・平成27(2015)年=100)は、先行指数:97.4、一致指数:101.1、遅行指数:98.9となった。 先行指数は、前月と比較して3.9ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。 3か月後方移動平均は0.97ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。7か月後方移動平均は0.40ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。 一致指数は、前月と比較して0.7ポイント下降し、4か月ぶりの下降となった。 3か月後方移動平均は0.63ポイント上昇し、4か月連続の上昇となった。7か月後方移動平均は0.68ポイント上昇し、11か月連続の上昇となった。 遅行指数は、前月と比較して横ばいとなった。3か月後方移動平均は0.43ポイント上昇し、10か月連続の上昇となった。7か月後方移動平均は0.54ポイント上昇し、8か月連続の上昇となった。 (内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和4年11月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>1 概 括 9月の景気動向指数(CI:コンジット・インデックス、H27年=100)は、先行指数112.6ポイント、一致指数80.4ポイント、遅行指数102.6ポイントとなった。 先行指数は、前月(114.2ポイント)を1.6ポイント下回り、4か月振りの下降となった。 一致指数は、前月(79.1ポイント)を1.3ポイント上回り、4か月連続の上昇となった。 遅行指数は、前月(102.4ポイント)を0.2ポイント上回り、2か月連続の上昇となった。 2 一致指数の動向 寄与度がプラスの系列 鋳工業生産指数、雇用保険受給者実人員、生産財出荷指数、最終需要財出荷指数、有効求人倍率、所定外労働時間指数(全産業) 寄与度がマイナスの系列 手形交換金額(1枚当たり)、建築着工床面積(鋳工業)、百貨店・スーパー販売額(既存店) (福島県「福島県景気動向指数」令和4年11月公表分)</p>

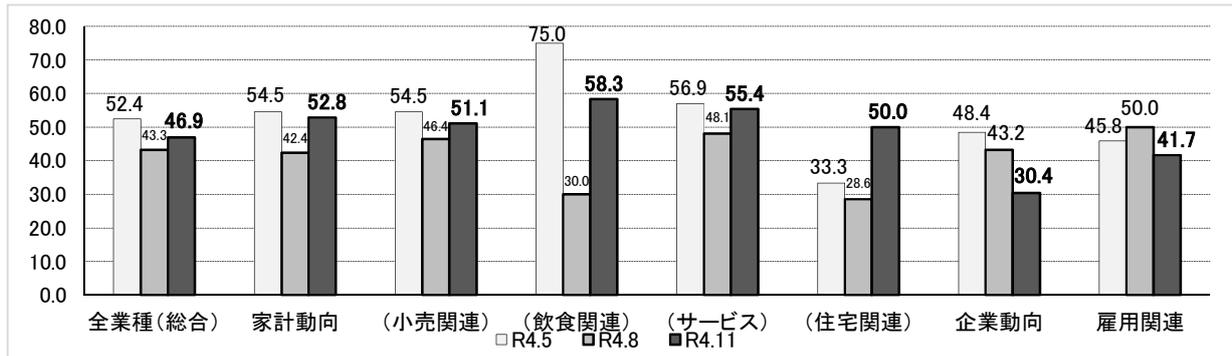
II いわき市景気ウォッチャー調査：令和4年11月時点

1 景気の現状について

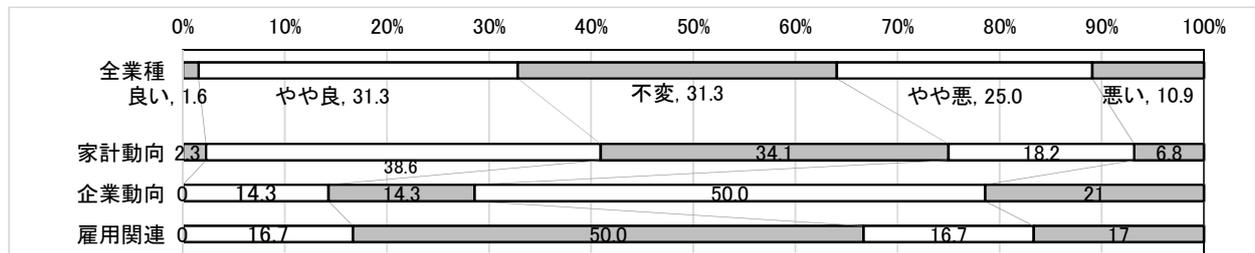
(1) 現状判断DI

○ 全業種（総合）の現状判断DIは46.9と、前回より3.6ポイント上昇した。内訳をみると、家計動向は上昇し、企業、雇用関連は低下した。

○ 主要業種別では、家計動向が52.8と前回より10.4ポイント上昇した。家計の内訳は、小売、飲食、サービス、住宅のすべての分野で上昇した。企業動向は30.4と12.8ポイント低下し、雇用関連は41.7と8.3ポイント低下した。



○ 全業種（総合）の回答内容をみると、3か月前と比べて「良くなっている」は1.6%であり、「やや良くなっている」が31.3%、「変わらない」が31.3%、「やや悪くなっている」が25.0%、「悪くなっている」が10.9%となった。



(2) 現状判断の理由

現状判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「受注量や販売量」、雇用関連では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

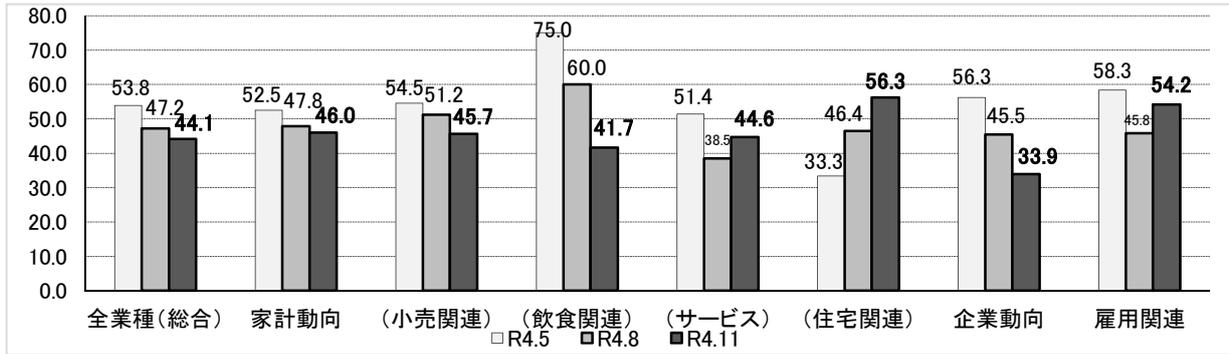
項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	13	5	8	26	1. 受注量や販売量	1	1	5	7	1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 販売量の動き	3	5	2	10	2. 受注価格や販売価格	1	0	1	2	2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 単価の動き	0	0	1	1	3. 取引先の様子	0	1	3	4	3. 採用者の動き	0	1	0	1
4. お客様の様子	2	3	0	5	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	1	1	2	4
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	1	1	5. その他	0	0	0	0
6. その他	0	2	0	2										
合計	18	15	11	44	合計	2	2	10	14	合計	1	3	2	6

2 景気の先行きについて

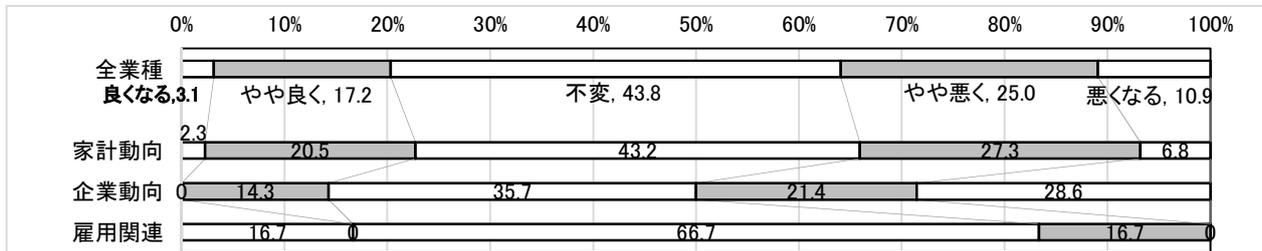
(1) 先行き判断DI

○ 全業種（総合）の先行き判断DIは44.1と、前回より3.1ポイント低下した。内訳では、雇用関連が上昇し、家計・企業動向が低下した。

○ 主要業種別では、家計動向が46.0と前回より1.8ポイント低下した。家計の内訳ではサービス、住宅関連が上昇し、小売・飲食が低下した。企業動向は33.9と11.5ポイント低下し、雇用関連は54.2と8.3ポイント上昇した。



○ 全業種（総合）の回答内容をみると、2～3ヵ月先には「良くなる」は3.1%であり、「やや良くなる」が17.2%、「変わらない」が43.8%、「やや悪くなっている」が25.0%、「悪くなっている」が10.9%となった。



(2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「受注量や販売量」、雇用関連では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)					項目(企業)					項目(雇用)				
	良い	不変	悪い	合計		良い	不変	悪い	合計		良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	6	6	6	18	1. 受注量や販売量	2	2	3	7	1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 販売量の動き	2	4	2	8	2. 受注価格や販売価格	0	1	0	1	2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 単価の動き	1	1	2	4	3. 取引先の様子	0	1	3	4	3. 採用者の動き	0	1	0	1
4. お客様の様子	1	5	3	9	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	0	1	1	2
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	1	1	2	5. その他	1	1	0	2
6. その他	0	3	2	5										
合計	10	19	15	44	合計	2	5	7	14	合計	1	4	1	6

3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。
記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

(景気の現状や街の様子等について)

- 通りを歩く人がほんとうに少なくなった。
- コロナ禍による影響がまだ続き、人の流れがとまってしまったようである。大型店舗も閉店してしまいそちらの影響もあるようだ。
- 10月末でコロナが収束に向うとの予測があり、夜の飲食店に動きが出始めたが、11月に入り、第8波の到来の兆しが見え始めている。よって11月は売上が低迷こそすれ、伸びるとは考えにくい。
- 住宅・不動産の購入層は低額（3000万以下）は低迷している。高額のお客様は動き出している。（大手企業や公務員）

(景気の先行きに対する期待)

- いわき市公共交通需要回復緊急支援事業のプレミアム付タクシー券により、業界がもりあがっている。新型コロナウイルス感染拡大は、心配だが、良くなると思う。
- 週末の夜は飲食のお客様も目立ち、グループでは人通りが多く感じられてきた。逆に昼の来街者は少なく依然として街中は閑散状態である。暗いニュースが多い中だが、駅周辺の再開発で居住人口が増えることに期待している。

(景気の先行きに対する不安)

- 長引くコロナ渦及び物価高騰により先行き不安感が出てきている。
- 新型コロナの第8波の兆候があるので不安。
- 新型コロナ感染が増えつつあるので 経済に影響していくのではと危惧している。
- コロナの数が増えて来て年末・年始の動きが気になる。
- 新型コロナ禍の推移と、アルプス処理水海洋放出の影響に左右される所が大きく、先行きは不透明である。
- 急激な光熱費や諸材料の高騰および値上げにより景気は悪化。価格転嫁も簡単にはできず、コロナの増加により先行きは不透明。今後の見通しは、景気よくなる材料がなく、冬に向かいますます人出は遠のき、経済は悪化すると思われる。
- 物価の変動（高どまり）により、お客様の購買意欲が落ちているような感じがする。客単価に表われている。暫く続くと思う。
- 物価が高くなり、どのタイミングで値上げをするか検討している。
- 光熱費等の値上がりが予定されているなかで、消費マインドは益々低下していくものと思われる。
- これだけ原料となる商品の価格が値上がりすると、正直今後の見通しがわからない。
- 様々な要因が重なり、なかなか回復は難しい。
- 経営相談に来訪する事業者の相談内容が、資金繰り、追加融資に関することが増えたと感じる。また、事業再構築補助金採択事業者についても、交付決定に時間がかかっており、資金調達について、金融機関の融資決済が先延ばしになることにより、業者への支払いができないといった状況である。雇用調整助成金コロナ枠が終了となったのちに、事業継続が難しくなるという事態になりかねないと考えられる。

- いわき市景気ウォッチャー調査の概要 -

(1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

(2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連77人、企業動向関連23人、雇用関連8人の合計108人を調査客体とする。今回（令和4年11月）の調査の回答数は64人（有効回答率59.3%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	77人	71%	44人	
小売関連	34人	31%	23人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	8人	7%	3人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	26人	24%	14人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	8%	4人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	23人	21%	14人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	7%	6人	人材派遣、職業紹介等
合計	108人	100%	64人	

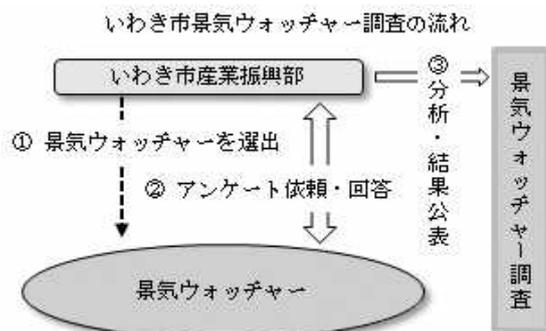
(3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

(4) 調査方法

いわき市産業創出課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業創出課と外部調査機関（㈱社会システムプランニング）が協力して行う。調査結果は、産業創出課が原則として調査の翌月に公表する。



(5) DIの算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることによりDIを算出する。

DIは50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3カ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断 (3カ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
	点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(6) 景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

いわき市景気ウォッチャー調査票 (令和 年度第 回)

令和 年 月 日

ご回答者

ご所属・お名前 _____ 様

あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。

該当項目を1つだけ選択し、番号に○をしてください。例：① 良くなっている。

【質問1】 今月の景気は3ヵ月前と比べて、良くなっていると思 いますか、悪くなっていると思いませんか？ 1つお答えください。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 変わらない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
【質問2】 質問1のご回答理由では、どのような点に最も着目し ましたか？ 1つお答えください。	1 採客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【質問3】 あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、 2～3ヵ月先は、今月より良くなっていると思いま すか、悪くなっていると思いませんか？ 1つお答えください。	1 良くなる 2 やや良くなる 3 変わらない 4 やや悪くなる 5 悪くなる
【質問4】 質問3のご回答理由では、どのような点に最も着目し ましたか？ 1つお答えください。	1 採客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【自由回答（市内景気動向に関して）】	

※質問2、4について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。

企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係

- 1 受注量や販売量の動き
- 2 受注価格や販売価格の動き
- 3 取引先の様子
- 4 競争相手の様子
- 5 それ以外

雇用関係

- 1 求人数の動き
- 2 求職者数の動き
- 3 採用者の動き
- 4 周辺企業の動き
- 5 それ以外

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業創出課
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 1 1 2 6 (直通)
e-mail : sangyosoushutsu@city.iwaki.lg.jp
